



— 女だから男だからではなく私だからの時代へ —
パートナーシップセミナーを開催します

パートナーシップセミナーでは、性別役割分担意識にとらわれることなく、それぞれの立場で男女共同参画について理解し、家庭や職場、地域社会で誰もが輝ける社会を目指し取り組んでいます。

無料 輝く私を目指して！
女性のキャリアアップセミナー

子育てや介護と仕事を両立しながらキャリアアップを目指そう。

日時 10月9日(土) 13時30分～15時30分
場所 松橋東防災拠点センター
講師 オフィス UEMURA
代表 上村 眞智子さん
対象 市在住・勤務の女性
定員 20人程度
申込期限 9月30日(金)



無料 オトコを磨こう！
男性の家事講座

家事に挑戦して、新しい自分を発見してみませんか。家事の楽しみを味わい、日常に活かしてみよう。



講座	日時	講師	場所
片づけ 掃除	10月2日(土) 10時～12時	ダスキン菊池 中村 和隆さん	松橋西 防災拠点 センター
裁縫 アイロンかけ	10月16日(土) 10時～12時	松本 直子さん	
料理	10月30日(土) 10時～12時	早田 雅美さん	

対象 市在住・勤務の男性
定員 15人程度
申込期限 9月24日(金)

共通事項
申込方法 電話・FAX・各申し込みフォーム
申込先 人権啓発課 ※申込多数の場合は、抽選。
その他 託児あり

申し込み
フォーム

みんなで学ぼうじんけん

生涯学習課 ☎32-1934

太鼓づくしのお話

ドドンド、ドンドンドンドン！今日は中学生と雨ごい太鼓体験。左右のバチが叩くりズムは決められていて、これがなかなか。しかも左手が言うことを聞いてくれない。「中学生はもうできましたよ」と指導する田口名人の声に、ちよつと：いや、かなり悔しい。でも太鼓って叩き出すと止まりません。さて、その太鼓を作るお話です。目の前で太鼓の皮を張りながら、話してくださいましたのは宮内礼治さん。鹿児島で和太鼓の製造販売をされています。杵のリングに半乾きの牛皮を合わせ、上下左右と紐で締めながら語りが始まります。ある日、宮内さんに太鼓作りについて考えさせられる出来事が起こります。店の入り口で子どもたちがのぞいています。宮内さんが招き入れると、「わあすごい！」と興奮する子どもたち。一人が「それは？」と筒状の物を指さすので、「乾燥させた牛の皮だよ」と教えると、「ええっ、牛の…」。牛さんは何と言ったの？」と驚く子どもたちに宮内さんは言葉

を失います。子どもたちが去った後、答えられなかった場面を反芻しながら、宮内さんはその答えを探します。

「牛を殺して太鼓を作ってるの？」というのは、小さな小さな「ケガレ意識」かもしれない。太鼓を作る仕事はそんな意識から差別されたこともあった。すごく悲しかったり、怒りが湧いたり。でも、この仕事には、それを包み込む技術がある。死んだ牛の皮を新たに生かす。生き物の命を「奪う」という言葉には悲しい響きがあるけれど、それを「頂きます」という形で大事に食べ、自分の体の一部となって生かされていく。太鼓作りも同じように、それを目にする形で生かしていく仕事です」

父の背中を追って憧れの太鼓職人になったという宮内さんは九州各地で小学生から大人まで幅広い年齢層に「知らないことが誤解やうわさとなる、正しく知ることが大切」との思いで話されています。講話の最後に宮内さんがリングからはみ出た耳(皮)を取ると…トンツ、トンツ、トンツ。おっ！軽やかな響きに一同思わず歓声が上がりました。

ひろみち
本田博通地域人権教育指導員が学校で働いていた経験などから「じんけん」の今をお伝えします



消費者トラブル 注意報

商工観光課 ☎32-1604

その場で契約せず、比較検討を
家庭用蓄電池の勧誘トラブル

- 事例**
- 「今日限りの価格」と購入を急かされた
 - 「今なら工事費・設置費無料」と長時間勧誘され、その場で契約してしまった
 - 太陽光発電設備の無料点検で訪問した事業者から金額の説明もなく勧誘された

突然訪問し、家庭用蓄電池の設置を勧誘されるケースが増えています。勧誘時に「電気料金が安くなる」「太陽光発電分を売電するよりも家庭用蓄電池を導入した方がよい」などと断定的な説明を受けても、うのみにせず、複数社から見積もりを取るなど情報収集し、総合的に判断するようにしましょう。

相談は **宇城市消費生活センター ☎33-8277** へ

かしこくみんなの **年金学**

熊本東年金事務所 ☎096-367-2503
市民課 ☎32-1417

収入や所得が一定額以下の年金受給者を支援
年金生活者支援給付金制度

対象 ①～③の年金受給者で、それぞれの支給要件を全て満たす人

- ①老齢年金**
要件・65歳以上
- 世帯の全員が市町村民税非課税
 - 公的年金などの収入金額とその他の所得との合計額が約88万円以下

- ②障害基礎年金 ③遺族基礎年金**
要件・前年の所得が約472万円以下
- ※次のいずれかに該当する場合は支給できません。
- 日本国内に住所がない
 - 年金が全額支給停止されている
 - 刑事施設などに拘禁されている

請求方法 8月下旬に日本年金機構から対象者に郵送された請求書に記入し、提出。
専用ダイヤル ☎0570-05-4092

日本年金機構ホームページ

郷の記憶をたどる

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわるさまざまな文化の魅力を発信します

文化振興課 ☎32-1954

郷土資料館では、企画展「不知火ものがたり」を開催しています。



企画展
不知火ものがたり
展示 10月10日(日)まで
9月21日(土)～30日(金)は臨時休館

八朔の日(旧暦8月1日、今年は9月7日)ごろに、不知火海の海面に現れる神秘の火「不知火」。

不知火は蜃気楼の一種で、日中に熱された海水面が夜間の放射冷却で冷やされ、空気中に複雑な空気層が発生し、遠方の光源が空気層中で何度も屈折を起こすことによって発生する自然現象です。不知火が蜃気楼だと解明されたのは大正時代以降。それまでは正体不明の怪奇現象として捉えられ、妖怪や怪火として伝承されてきました。



不知火は今でも横綱の土俵入りの型名として残っていたり、小説や漫画に登場したりするなど、その神秘的な魅力は人々に多くのインスピレーションを与え、たくさんの「ものがたり」が生まれてきました。

郷土資料館では、これらの「ものがたり」の中から、江戸時代に書かれた長編小説「不知火譚(ものがたり)」の実物を展示。皆さんを不思議な世界にご案内します。

郷土資料館



開館時間 10時～17時
休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日)
住所 豊野町糸石3818 ☎45-2102